5月12日は 看護の日

～感染を防ぐ行動が看護へのエールに～

近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、毎年５月１２日は「看護の日」と定められています。２０２０年はナイチンゲールの生誕２００年の年です。「看護の日」と「看護週間」が制定されたのは１９９０年でちょうど３０周年を迎えました。しかし、現在、新型コロナウイルス感染症が拡大し医療機関に大きな影響を及ぼしています。最前線で患者さんの対応にあたっている看護職に世界中で注目が集まっています。こうした状況の中、看護職の果たすべき役割について公益社団法人栃木県看護協会会長の渡邉カヨ子さん、同協会教育研修課長兼ナースセンター課長で感染管理認定看護師の野澤寿美子さんにお話をうかがいました。

（企画・制作　下野新聞社営業局）

栃木県看護協会全体でNursing Nowキャンペーンを盛り上げています。

右：栃木県看護協会会長 渡邉カヨ子さん
左：同協会教育研修課長 感染管理認定看護師 野澤寿美子さん

Nursing now
看護の力で健康な社会を！

Nursing Now（ナーシングナウ）は、看護職への関心を深め、地位を向上することを目的としています。WHO（世界保健機関）とICN（国際看護師協会）が賛同している世界的なキャンペーンです。看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題へ取り組み、人々の健康向上に貢献するための活動です。

―今年はナイチンゲール生誕２００年、「看護の日・看護週間」制定30周年の記念の年です。看護職への関心を高め、地位向上を目的とした世界的なキャンペーン「Ｎｕｒｓｉｎｇ　Ｎｏｗ」が展開され、本県でもさまざまなイベントが予定されていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、イベントの開催延期を余儀なくされました。現在の状況についてどう受け止めていますか。

●渡邉会長　医師、看護師などの医療従事者は日夜最善を尽くし、新型コロナウイルス感染拡大予防と日々の診療業務に従事して地域医療を支えるため奔走しています。治療、ケアに最善を尽くしていますが、先の見えない未知のウイルスとの闘いに疲弊してきています。

―現在、感染管理認定看護師の活動が重要になっています。感染管理認定看護師とはどういう業務を行っているのでしょうか。

●野澤課長　新型コロナウイルス対策では医療従事者が適切な対策がとれるように「実践」「指導」「相談」を行っていきます。手洗いの適切な方法が行われているか、防護具の適切な着脱ができているか、外来患者などが咳エチケットを順守しているかなどの確認を行い、院内感染予防に努めています。

―新型コロナウイルスに感染された方が増える中、現場看護師は多忙を極めた日々を送っていると思います。県看護協会から看護師の皆さんにメッセージをお願いします。

●渡邉会長　世界中で看護という職業が注目を集めています。かけがえのない尊い仕事であることが明らかになっています。今年はナイチンゲール生誕２００年の年です。ナイチンゲールが培った感染管理の知識と技術を生かし看護の真の力を発揮しましょう。感染拡大で人材不足が懸念されています。仕事に従事していない看護職の皆さん、医療現場や訪問看護、介護施設などさまざまな場所で看護職を必要としています。ぜひ復職してください。栃木県ナースセンター（☎０２８・６２５・３８３１）にご相談ください。心よりお待ちしています。一致団結してこの苦難を乗り切りましょう。

―県民読者にメッセージをお願いします。

●渡邉会長　感染拡大の重大局面です。不要な外出は避けてください。仕事をしている方も風邪症状、発熱があったら自宅待機し、人との接触を避けてください。看護職は感染対策の技術を身に付け、衛生観念が高い専門職です。差別や偏見を持つことなく看護職への応援をお願いします。

今般の新型コロナウイルス感染症により医療機関に大きな影響が及んでいます。日夜、最善を尽くして感染予防や診療などの業務に従事し、地域医療を支えている看護職をはじめ医療関係者の皆さまに心より敬意を表します。